

# 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果

## 京都市立双ヶ丘中学校

4月21日に、本校3年生を対象に実施された「全国学力調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語、数学と理科（3年に1度）の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されております。調査結果を踏まえ、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況でわかったことをお伝えします。

### 総合結果（国語・数学・理科）

国語 A・B、数学 A・B、理科すべての調査結果において、全国平均を上回っています。この5年間をかけて、本校の数値は上昇傾向にあると言えます。国・数ともに A 問題「主として知識」よりも B 問題「主として活用」の方が大きく上回っているのが本校の特徴です。単なる覚え込みで知識を身につけるだけでなく、知識を活用して考えたり、記述する力が伸びています。

#### 国語科より

全体的によくできています。正答率が低かった問題は「手紙の後付けの書き方、表現技法」です。読む問題については高い正答率でした。「複数の資料から情報を読み取り、自分の考えを書く」・「根拠を明確にして書く」問題には少し課題があります。全体的に昨年度よりポイントが上回っています。

これからも、語彙力を増やすために、新聞を読んだり読書に親しむ態度を大切にしましょう。

#### 数学科より

概ね、どの問題も全国を上回り、よくできていると言えます。「証明の必要性和意味を理解する」・「問題解決の方法を図形の性質を用いて説明する」ことに、いくつかの課題が見えてきます。「数と式」はとても高い正答率でした。数学を学習する意味や学んで得られることをしっかりと考えていきましょう。

結果だけを重視するのではなく解き方が得られるまでの課程を大切にしましょう。

#### 理科より

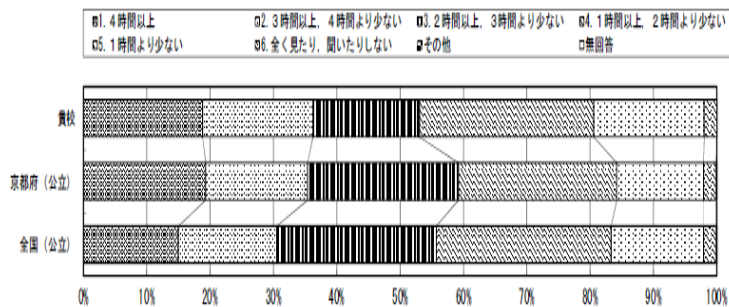
全体的によくできています。観察・実験の結果に基づいて、考察し知識を活用して説明することが大切です。『知識』を活用する力が、日常生活で起きている現象から問題を発見し、解決することにつながります。日頃から新聞を読み、復習や予習をして科学的思考力を身につけましょう。

実験方法を考えたり、その結果を考察したりする力はとても大切です。

これらの数値は、あくまでも双ヶ丘中学校の平均値の分析であり、個人の実態を表すものではありません。個々の調査結果は、8月の末に返却していますので、じっくりと結果を見ながら、自分の弱点を探し、早めに克服することが大切です。

最近必要とされている学力は、覚えることではなく、理解し、考えて、伝える力です。それらは一夜漬けではなかなか付かない力でもあります。日常の学習習慣を大切に！

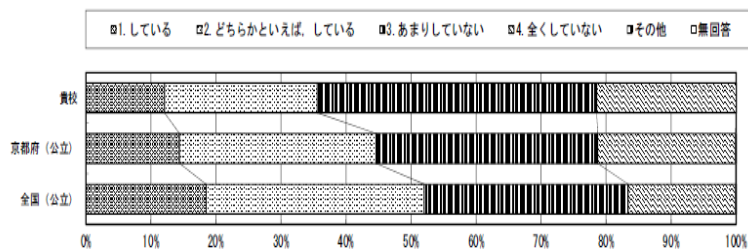
### 生徒質問紙調査から見える課題①



平日にテレビやビデオを見る時間が1日「4時間以上」「3時間以上」が全国の平均値よりも上回っています。家庭で計画をしっかりと立てて時間を有効に活用しましょう。

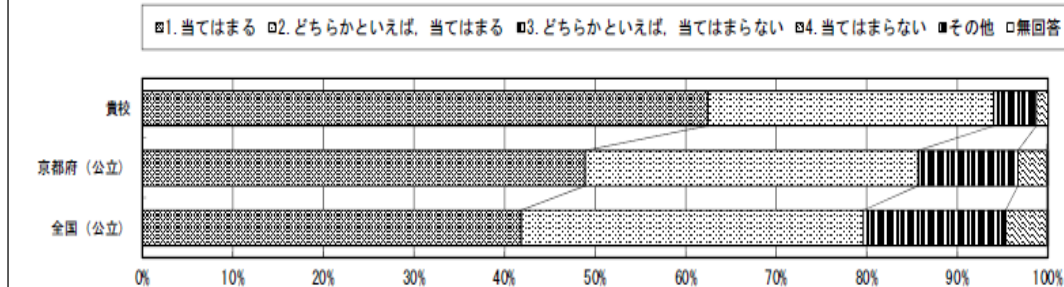
まずは、学習習慣を定着させることが大切です。

### 生徒質問紙調査から見える課題②



左は「家で学校の勉強を復習していますか」という設問に対する回答です。平均よりも下回っていることがわかります。学習内容を定着させる上でも、家で復習する習慣は大切にしたいものです。

### 全体を通した本校の成果と課題



左は「1・2年の時に受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されたと思いますか」という設問に対する回答です。京都府・全国平均より大きく上回っています。学力向上の取組に関して本校が継続して取り組んできた内容です。国語・数学・理科ともに全国平均を上回ることが出来ました。学習に対して、30分でも1時間でもその積み重ねが大切です。意識して取り組んでください。

### 保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性を更に伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねによって定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤になります。今後とも引き続き子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。